

「ワクワク」と「くつろぎ」を届ける、びっくりドンキーの空間づくり

JCSI 日本のリーディングブランド 2025-26

[株式会社アレフ（北海道）](#)

【概要】

- ハンバーグレストラン「びっくりドンキー」を展開
- 「居住性」を重視した店内演出に力を入れる。五感に訴える「ワクワク」と「くつろぎ」が共存する体験を追求する
- 創業当時から大切にしている“お客様に驚きと楽しさを届けたい”という想いは、今も息づく
- 建物全体のコンセプトの1つに“ロバの住む家とロバ飼いの生活”がある。店舗には、森や山から集めた自然素材が溢れる

【特徴】

- “どこに座っても違う景色が楽しめる”空間づくりにこだわり続けている。“ロバの住む家とロバ飼いの生活”がコンセプトである店内は、「納屋・ロバ小屋」「住居」「森の空間」という3つのエリアで構成されている。「納屋・ロバ小屋」は、創業当時の“手作りの温かさ”を古木材で表現している。「住居」は、どこか懐かしく、くつろげるような装飾が施されている。「森の空間」は、大自然の静けさや再発見をテーマに、壁紙や演出によって森の風景を感じられる空間としている
- 音への配慮が、くつろぎを生む。店内BGMは、モーニングからランチ、ディナー、深夜帯まで、時間帯ごとに雰囲気合った音楽を選曲し、1日の流れに寄り添うような音環境を演出する
- おしぼりや砂糖袋には、「大吉」の文字が記載されているものもある。見つけるとちょっと嬉しくなるようなデザインを埋め込んでいる。店舗や商品のどこかに隠された“仕掛け”を講じている
- 「心地よかった」「また来たい」と思える体験として記憶に残していただけるような店づくりを目指している

【サービスイノベーションの観点から】

お客様に驚きと楽しさを届けることができるハンバーグレストランサービスという価値提案を、店舗デザインで形にするために、くつろげる店舗内の空間づくり、笑いを誘うカップ、おしぼりの意匠、時間帯別の音環境の演出に至るまで、きめ細かい価値共創（利用価値共創）の仕組みが作り込まれている

【組織データ】

所在地	北海道 札幌市
従業員数	733人
創立	1968年（創業）
業種	飲食
キーワード	ハンバーグレストラン
売上規模	100~1,000億円



▲赤い屋根が象徴的な「ロバの住む家とロバ飼いの生活」をコンセプトにした店舗（佐倉ユーカリが丘店・千葉県佐倉市）



▲創業当時の手作りの温かさを古木材で表現した「納屋・ロバ小屋」エリアの光景



▲スタッフのエプロンには「ひき肉（ハンバーグ）・野菜・米」というハンバーグディッシュメニューの構成を表した公式がさりげなく描かれており、ここにも遊び心が光っている